

「日本のスポーツ」について: 相撲

日本で相撲はお年寄りにとって人気のあるスポーツの一つです。相撲は一般的だし、心・技・体が必要だし、伝統を守るので、ネットによると、奈良(なら)の時代(710年ー794年)から、現在(げんざい current)でも、人気だそうです。お年寄りだけでなく、大人と若者達も相撲を見るのではないのでしょうか。

アメリカでは少しずつ人気が高まっていると考えられています。例えば、先学期、茶道部のグループで松声庵茶室(しょうせいあん・ちゃしつ)のイベントに行って、そこでアメリカ人の力士を見ました。実は、彼らは、世界中の大会(たいかい tournament)に参加(さんか participation)したそうです。私と茶道部の部員が行ったイベントで、私は、土俵で力士対力士の試合を見られて良かったです。イベントで、アメリカ人の力士対子供の試合もありました。子供はとても可愛くて、アメリカ人の力士は子供に優しかったです。

ネットによると、アメリカでプロ相撲は2001年7月4日に始まったそうです。私は相撲の力士の情報はあまり分からないから、ネットで調べたところ、日本におけるアメリカ人の力士で一番有名な選手は曙 太郎(あけぼの・たろう)という、初めてのアメリカ人の力士でした。この力士が努力したために、2001年にアメリカにとって、初めてのプロ相撲のチームができました。さらに、他の国やアメリカ人にとって、力士になる夢はもはや(no longer)遠くないものになりました。残念ですが、その力士は今年の四月に亡くなってしまいました。

力士は仕事のために、髪型やダイエットなどの色々な伝統的な習慣を守っています。四年前に見た動画では力士は、体の大きさを大事にして、力士と普通の人を比べると、力士の方が命が短いそうです。普段力士は普通の人間と比べて、20年か15年早く死んでしまうそうです。だから、私は力士になりたくないと思います。それに、力士は見るだけで十分ではないかと思います。

もちろん、誰かが力士になる夢があったら、頑張った方がいいと思います。相撲は昔は日本だけのスポーツでしたが、現在では海外でも見られるようになり、将来さらに人気が高まっていくでしょう。

ソース/ 参考文献(さんこうぶんけん):

- [アメリカの相撲のウェブサイト](#)
- [あけぼの・たろう](#)